

言い換え技術の研究動向: 分類体系, 知識獲得, 応用

藤田 篤^{1,a)}

概要:

言語には同じ意味内容・情報に対応する表現がいくつも存在する。そのような、意味が(近似的に)等価な言語表現の異形を言い換えという。本講演では、以下の3部構成で、言い換え技術の研究動向を紹介する。まず、言い換えとみなすべき表現とそうではなく含意や推論等を含むような表現の関係について整理するとともに、言い換えに含まれる表現を大まかに分類する。次に、今世紀に入って大きく進展した、言い換え知識の自動獲得手法、およびそのような知識を活用した自然言語処理応用技術について概観する。最後に、これまでの研究の成果のまとめをふまえ、今後取り組むべき研究課題について議論する。

¹ 公立はこだて未来大学システム情報科学部, Faculty of Systems Information Science, Future University Hakodate

^{a)} fujita@fun.ac.jp